

福岡県民100年健康ライフ構想 と医療DXについて



福岡県医師会 常任理事 辻 裕二
令和7年8月21日(木)

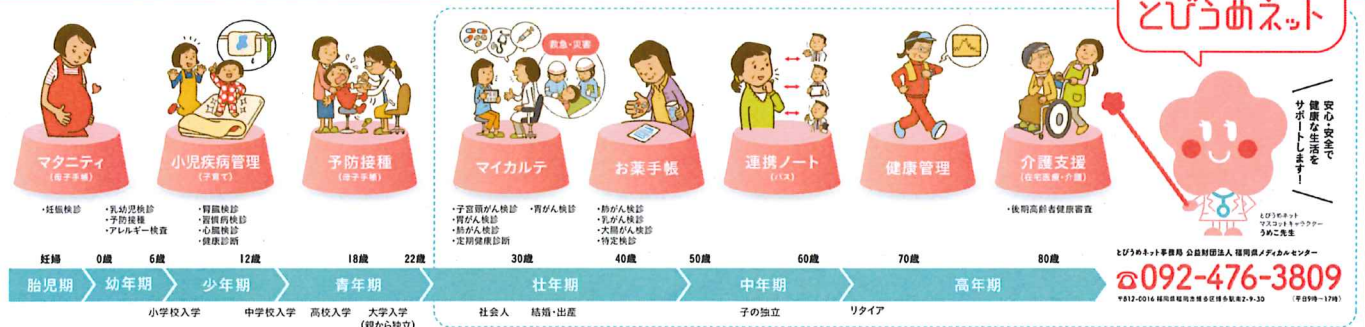


1

福岡県民100年 健康ライフ構想

健康でいきいきとした毎日のために。 福岡県医師会がサポートします。

県民の皆さんの健康を生涯にわたって支えるために、医師・医療機関を中心とした情報基盤を確立し、皆さんの健康増進をサポートしています。
この福岡県民100年健康ライフ構想の中核となるのが、福岡県医師会診療情報ネットワーク「とびうめネット」です。



公益社団法人 福岡県医師会



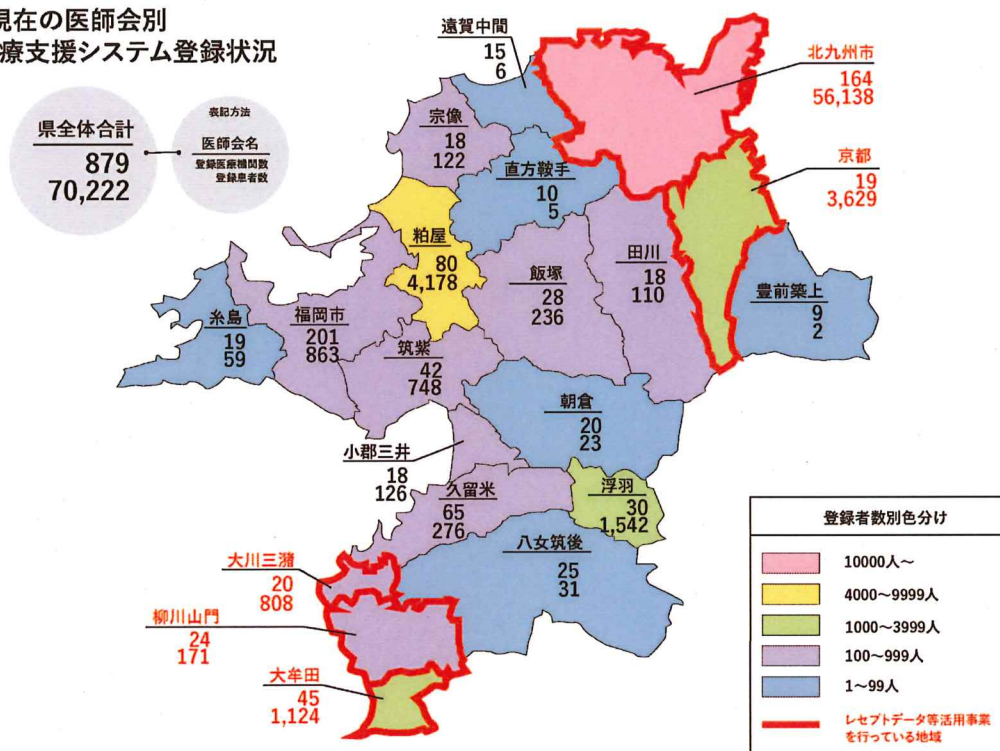
2

とびうめネットの3つのシステムの概要

救急医療支援システム	かかりつけ医が患者さんの病名、病歴、服用しているお薬、アレルギー、緊急連絡先等を登録することで、救急搬送先病院が情報を参照し、診療を円滑かつ効率的に行うことが可能となる。
多職種連携システム	救急医療支援システムに登録されている患者基本情報（病歴、処方等）の多職種による共有や、SNS機能を利用した多職種による情報（病態、家庭での状況等）をリアルタイムに共有することで、早期の対応が可能となる。
災害時バックアップシステム	電子レセプトデータまたは電子カルテデータ(SS-MIX2形式)を福岡県医師会内のデータセンターへバックアップすることで、大規模災害や医療機関内での不慮の事故、サイバー攻撃(外部からの不正ソフトウェアの送り込み)の際にも、データセンターに保全したデータを電子で提供することにより、診療等の最低限の業務の継続が可能となる。

3

7月末現在の医師会別
救急医療支援システム登録状況



4

レセプトデータ等活用事業

北九州とびうめネット連携事業は、北九州市、北九州市医師会及び福岡県医師会の共同事業として運用を開始した。当初、北九州市内の医療機関だけで情報共有していたが、より幅広く県内の救急告示病院（二次・三次）で情報共有ができるように、福岡県と福岡県医師会で各市町村に声掛けし、県内の複数市町村において同様の取組「レセプトデータ等活用事業」を開始している。本事業は行政と医師会が一体的に取り組んでいるため、市民の方に安心感をあたえるものとする。

レセプトデータ等活用事業を行っている地域	閲覧開始時期	登録対象者	郡市医師会
北九州市（とびうめ@きたきゅう）	令和元年12月	北九州市民	北九州市
大牟田市（とびうめネット）	令和5年12月	大牟田市民	大牟田
大川市（とびうめ@おおかわみずま）	令和6年4月	大川市民	大川三潯
みやま市（とびうめ@みやま）	令和6年9月	みやま市民	大牟田、柳川山門
行橋市、苅田町、みやこ町（とびうめネット）	令和6年12月	行橋市民、苅田町民、みやこ町民	京都



5

情報が自動更新～自動的に入る情報一覧～

自動的に入る情報は、登録者が国保・後期高齢者医療・介護保険を利用した際の情報。

高齢者の情報は、ほぼカバー

情報の種類	内容
共通情報	基本4情報（氏名（カナ氏名含む）、住所、生年月日、性別）、緊急連絡先、本人が申告するアレルギー情報、血液型
医療情報（国保・後期）	医療機関名、傷病名、投薬、歯科医療機関名、薬局名、調剤（医薬品名）
介護情報	要介護度、認定期間、サービス事業者名（ケアマネ事業所）
健診情報	特定健診情報（国保分）、後期高齢者健康診査情報

とびうめネット事務局が入力

自動更新

※登録した方が国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険を利用した際の情報が医療機関等で閲覧できる（最大過去5年分で受診した直近12回分の情報）。

※情報の更新は毎月行う（ただし、直近から数か月前の情報となる）。



6

「レセプトデータ等活用事業」のポイント

従来の救急医療支援システム

課題①
同意取得負担

課題②
入力負担



レセプトデータ等活用事業

解決①
市役所窓口でも
市民に声かけ

解決②
常に新しい
情報が自動更新



医療DX 3本の柱

- 1) 全国医療情報プラットフォームの創設
- 2) 電子カルテ情報の標準化等
- 3) 診療報酬改定DX



オンライン資格確認システム



9

電子カルテ情報の標準化等

標準化された電子カルテ情報の交換を行うための規格や項目

◆ 3 文書（文書情報）

- 1) 診療情報提供書
- 2) キー画像等を含む退院時サマリー
- 3) 健康診断結果報告書

◆ 6 情報（電子カルテ情報）

- 1) 傷病名
- 2) アレルギー情報
- 3) 感染症情報
- 4) 薬剤禁忌情報
- 5) 検査情報（救急時に有用な検査、生活習慣病関連の検査）
- 6) 処方情報

□規格はHL7 FHIR



10

全国医療情報プラットフォームと地連NW

全国医療情報プラットフォーム：新幹線

地連NW：ローカル線

得意と不得意がある

○地域住民のためには、新幹線とローカル線の連絡(連携)が必要。

連絡(連携)が必要。

○地域の特性に応じる。



令和6年度診療報酬改定 II-8 質の高い在宅医療・訪問看護の確保

在宅医療におけるICTを用いた連携の推進

➤ 在宅で療養を行っている患者等に対し、ICTを用いた連携体制の構築を通じて、質の高い在宅医療の提供を推進する観点から、医療・ケアに関わる関係職種がICTを利用して診療情報を共有・活用して実施した計画的な医学管理を行った場合の評価、患者の急変時等に、ICTを用いて関係職種間で共有されている人生の最終段階における医療・ケアに関する情報を踏まえ、療養上必要な指導を行った場合の評価等を実施。



ランサムウェアに関する注意喚起

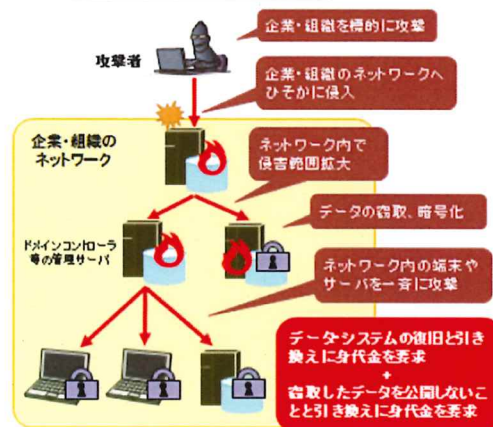
報道されております通り、医療機関にてランサムウェアによる被害が発生しております。

ランサムウェアに感染するとパソコン等に保存されているデータが搾取され、暗号化して使用できない状態にされてしまいます。その上で、情報漏洩の脅迫やデータを戻す対価として金銭が要求されます。

■ランサムウェアの侵入経路

- ・インターネットに接続している機器(VPN装置、ルーター)の対策されていない脆弱性を悪用した侵入
- ・院内のパソコンに不正なメールを送り付けて、ウイルス感染させて端末を遠隔操作する
- ・ウェブサイトに掲載されている広告から、正規のサイトによく似た偽サイトへ誘導しプログラムをダウンロードさせて感染させる

新たなランサムウェア攻撃



IPA【注意喚起】事業継続を脅かす新たなランサムウェア攻撃について
<https://www.ipa.go.jp/security/announce/2020-ransom.html>



13

ランサムウェアに関する注意喚起

■ランサムウェアの感染に備えたバックアップ対策

3つのコピー
によるバックアップ



2種類の媒体保存



1つのクラウドや
別ネットワークでの保存



バックアップファイルのコピーを3個作成したうえで、外付けハードディスクやブルーレイディスク、テープディスクなど異なる2種類の媒体に保存。さらに、もう1つは診療に利用しているネットワークからはアクセスできない場所への保管として、「クラウドサービス利用」や「バックアップ取得時以外はオフラインで保管」「別のネットワークや場所に保管」といった対策を検討してください。

また、復旧の手順として、バックアップデータから実際に復旧できることを確認しておくことも重要です。



14

その他の機能（レセプトデータバックアップ）

レセプトバックアップは、以下のような医療機関のいざという時に、安全性を確保した福岡県医師会内の専用サーバーに事前に保管されたデータから**速やかに患者情報を復元でき、診療の継続を可能とする**とびうめネット固有の機能が効果を発揮

- 災害で紙カルテが流失
- レセプトコンピューターの故障
- サイバー攻撃で患者データ消失 等

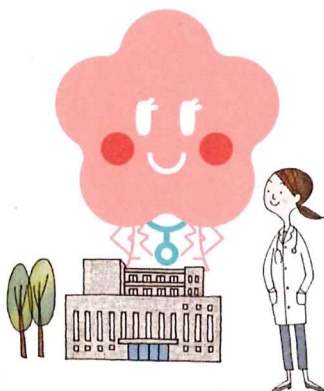


! 近年、増加傾向にあるサイバー攻撃によって医療機関では診療が停止する事案の発生や患者の個人情報 that 搾取されるなどの被害が発生しています。また、令和5年度より、医療法に基づく医療機関への立入検査において、サイバーセキュリティの確保に関する項目が追加されています。各医療機関におけるサイバーセキュリティ対策の一助としていただきますようお願いします。



15

ご清聴ありがとうございました。



16